

福生三中だより

令和5年4月10日発行 No.1
福生市立福生第三中学校

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
 - 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
 - 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
 - 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒
- 校訓 礼節

入学・進学おめでとうございます

校長 植村多岐

学校の木々や草花も花を咲かせ、さわやかな風が心地よく吹き抜ける中、令和5年度を迎えることができました。

先週の入学式では、希望に満ちた82名の新入生を迎え、全校生徒数223名、1学年3学級、2.3学年2学級、計7学級での新たなスタートとなりました。改めて、生徒のみなさん、ご入学・進学おめでとうございます。今の新鮮な気持ちを大事にし、新たな一歩を踏み出してください。

三中の先生方は、今年も皆さんの「夢や希望の実現」を応援し、「自立」を応援します。しかし、自立のためには、まず、皆さん自身が自分を知り、自分と仲良くすることが大切です。自分と仲良くするということは、「私ってダメな人」と思うより「私は自分のこんな所が好き」と思うことを増やすことです。この世で一番かけがえのないものは皆さんの命であり、素敵な個性です。そして一日24時間、一生、自分自身とは一緒に生きて行くのです。この一年間で「自分のここが好き」と思えることをたくさん考え、先生方とともに探していく、それが「自立」への第一歩です。

また、今年の中中は50周年という節目の記念の年となります。その記念すべき年に、偶然三中生として集まった皆さんが、学校行事等の様々な活動の中で、50年という長い歴史や伝統を感じながら、今を生きる三中生の一人として全力で取り組む。そして、充実感と笑顔のあふれる毎日の中で「かけがえのない自分・価値ある自分」をさらに認識でき、自信がもてる活動となるよう願っています。

保護者・地域の皆様、昨年度は本校の教育活動にご理解をいただきありがとうございました。今年度の三中も、全ての生徒にとって思いやりの精神がうず巻く心地よい場所であり、「自分の将来に夢や希望をもち、自立して卒業できる生徒」の育成を実現させたいと思っています。さて、中学校教育は様々な課題に直面しています。その課題に取り組むとともに、今の中学校教育の本質である中学生の「よさ」をきちんとみつめることが大切だと考えています。そして、三中は「自分の生き方、人間としての在り方」を学ぶことが本質的な目的と捉え、以下のことを今年度の教育の柱と考えています。

- 1 自分の将来に夢や希望をもち、自立して卒業できる生徒の育成
(自尊感情、自己肯定感を高める取り組みの推進)
- 2 生徒の「自立」「共生」を目指した教育活動の展開
- 3 自ら主体的に学習に取り組む態度・姿勢の育成
- 4 校訓「礼節」の取り組みを通じた社会性の育成

このことをしっかり見据えて、本校教職員のチームワークで、生徒たちの幸せのために、全力を尽くしてまいります。今年度もご支援よろしくお願いたします。

(裏面は人事情報のため省略します)